

2015年1月

～新しい年～

あけましておめでとうございます。

昨年は多くの自然災害に見舞われ、心が痛みました。それに加え、社会や政治の不透明感が不安の念に駆り立てられました。

人口構造の高齢化と少子化がもたらす人口減という3点セットは、成熟社会につきものの現象とはいえ、「成熟イコール衰退」になりつつある現状に危惧の念を抱きます。

一層の不透明感が増しつつある現在、決して衰退させてはなりません。その為にも私達1人ひとり、時代がめざす方向性を探りながら、希望を見出し、市民の力を結集し、私達が先頭をきって実践して行かなければならないと考えております。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



『インドネシア共和国、見て・食べて・感じて！』

年末から1月6日まで（10日間）インドネシアへ。
長男の仕事の関係も含めて、家族旅行をしました。29日に首都ジャカルタに着き、インドネシア料理を食べました。



首都ジャカルタで驚いたことは二輪車（オートバイ、スクーターなど）が車の前後左右に湧いて来るように多く、私の腕ではジャカルタで運転はできない！と思いました。人口ボーナス（子供が多いこと）の街は活気に溢れていました。



ジョグジャカルタで、ボロブドゥール仏教遺跡を見物しましたが、私の足では無理なので車椅子から見上げました。



31日～3日までバリのAYANAリゾートアンドスパ(ホテル)でゆっくりしました。



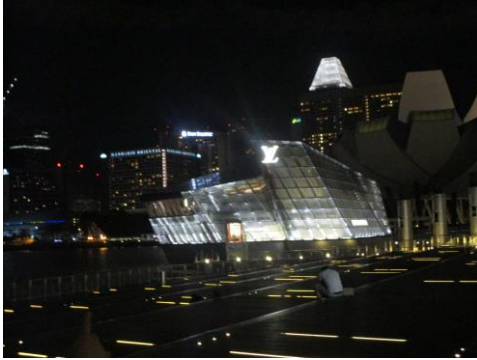
その間、ヒンズー教の寺院に行き、年2回あるタナロット寺院でのヒンズー教の大きな儀式に出会い、家内安全を祈る人々の姿はどここの国でも変わらない事を感じました。



4日スラバヤからバタムに着き、市場などを見学しました。食物の豊富さを見せつけられました。熱帯地方なので(特に雨季のせいなのか?)食物が豊富で野菜、果物、海産物、肉(宗教により豚肉は食べない)などなど、特にトウガラシ系の食物が多く市場にあふれていました。



Batamから船に乗って40分で大都会シンガポールに着きました。テレビコマーシャルに出て来た「マリナベイサンス」の部屋に荷物を置き、最上階のレストランで食事をしながらシンガポールのすばらしい夜景を満喫しました。



イギリス領の頃建てられた五ツ星ホテル「ラッフルズ・ホテル」はとても雰囲気良くシンガポール・スリリングというカクテルを飲み最後の日を楽しみました。



6日、無事羽田に着き宇部空港より帰宅しました。

インドネシアは、もはや発展途上国と言えないくらいの国です。国民にエネルギーを感じました。そして宗教を持っているせいか人々が穏やかだと思いました。今からますます発展する国です。日本人である私たちには学ぶ事が多いように思いましたし、親日国であることがとてもうれしく思いました。今回の旅を背負ってくれた長男に感謝！

▶インドネシア共和国のあらまし◀

人口： 2億4700万人（世界4位）・多民族国家

面積： 191万9440km²（世界15位）

※1万3466にのぼる島を持つ国

独立： オランダより1949年12月27日独立承認

通貨： ルピア（IDN）

宗教： 信教の自由（世界最大のイスラム人口国）・無神論は違法

アラルト：◎東南アジア諸国連合（ASEAN）の盟主、アセアン本部が首都ジャカルタにある

◎環太平洋火山帯で火山が多い国、熱帯気候です。

◎農業国で鉱業資源に恵まれている

◎貧富の差の拡大（半数近くが貧困らしい）